

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	愛知県常滑市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	常滑市文化遺産総合活用推進事業	【計画の改善時期】 平成31年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>本計画では、主に下記の事業を実施する。</p> <p>①常滑焼の普及啓発事業（平安時代末期から受け継がれている常滑焼の展示・講演会等）</p> <p>②常滑市内各地区に伝わる囃子の継承事業（後世に継承していくため、ホームページでの情報発信やBlu-ray Discでの記録作成を行う。）</p> <p>③山車の用具等整備事業（地域のシンボルである山車を後世に伝えるため、山車の修繕を行う。）</p> <p>④とこなめ山車まつり（市内の山車、伝統芸能を一堂に集めて公開する）</p> <p>・平成28年度までの「常滑市文化遺産活用推進事業」の実績報告を踏まえ、特に常滑焼の普及啓発事業については、幅広い世代に常滑焼を知ってもらえたことが効果として得られたものの、さらに観光振興等にも繋げる取組を実施することが必要であると検証したことから、本計画では、実施内容を改善し、旧計画で実施した事業に加え、観光資源でもあるやきもの散歩道の見学を行う事業なども実施していく。</p>			
6 実施体制			
<p>常滑市が全体計画の策定、調整、事業の指導等を行う。</p> <p>・教育委員会 生涯学習スポーツ課</p> <p>事業の実施については、次の団体が行う。</p> <p>・常滑市文化遺産活用推進委員会（事務局：生涯学習スポーツ課）</p> <p>構成団体：『尾州廻船が伝えた常滑』地域活性化推進委員会、大野谷文化圏活性化推進委員会、矢田万歳保存会、尾張大野梅栄車継承委員会、大谷祭礼活性委員会、常磐車建造100周年記念実行委員会、白山車建造百周年記念事業実行委員会、常滑焼活用推進委員会、常滑市奥条区、とこなめ山車まつり実行委員会</p> <p>計画期間終了後は、市教育委員会及び本推進委員会において成果の評価を行い、その結果を次期実施計画や市教育委員会の生涯学習・文化振興に係る方針設定などに活用する。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 99,341 千円	平成31年度申請額： 27,926 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>・常滑焼の普及啓発事業の実施により、目標とする観光客数を誘致・増加が達成できれば、常滑市の観光・産業振興につなげることができる。</p> <p>・常滑市内の各地区に伝わる囃子の継承事業を行い、文化財である山車の修繕を実施することで、目標とする囃子や祭礼行事の保存会の会員数の維持・増加が達成できれば、地域への愛着が深まり、地域コミュニティをより深いものにすることができる。</p> <p>・とこなめ山車まつりを実施し、普段は各地域ごとに行われている伝統文化を一堂に会し公開することで、市全体の文化と観光の振興に繋げるとともに、地域間の文化的交流を促進することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	<p>事業③⑦⑧、④⑤⑩、⑥など、民間において、本市の主要な文化財である常滑焼を広く一般に普及する事業を実施しているため、市教育委員会では主に子どもを対象とした事業を展開している。平成29年度に日本六古窯が日本遺産に認定されたことを期に、学校、とこなめ陶の森（陶芸研究所・民俗資料館）と連携し、「日本六古窯常滑焼学習事業」を実施し、小学生対象に常滑焼に触れ、歴史を学ぶ事業を実施している。平成31年度においては、さらに地元の陶芸事業者等の協力を得て、作陶体験の事業を予定している。</p>		
事業概要：	<p>事業⑤など、とこなめ焼協同組合や常滑焼陶芸作家などの協力を得て実施しているが、将来的に製作者自らが継続的、主体的に事業を行っていけるよう、引き続き働きかけを行っている。</p>		

11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

本補助事業を活用して、官民一体での地域活性化に向けた取り組み体制を確立させるとともに、事業を通じて地域に根付く様々な文化遺産の保存や活用方法についての課題等を明確にし、歴史文化基本構想及び文化財保存活用地域計画の策定を検討したい。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	常滑市教育委員会 生涯学習スポーツ課
-----------------	--------------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	常滑焼関連施設・観光名所の利用者数・観光客数 (やさもの散歩道、とこなめ陶の森等 6 か所)	関連事業:	事業①, ③~⑨, ⑱, ⑳, ㉔			
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 801,900 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,142,000 人					
設定根拠 1 :	過去10年間の入館者・利用数の伸び率が平均年3.4%だったため、2倍の年6.8%増に設定					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
727,400 人	713,300 人	人	人	人	人	
-22%	-26%					
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	矢田万歳保存会会員数	関連事業:	事業②, ⑩			
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 10 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 18 人					
設定根拠 2 :	文化庁補助事業の活用により、H28の入会者は4人だったが、過去の入会者が0に近く、会員の高齢化を考慮し、年間1.6人増に設定					
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
14 人	12 人	人	人	人	人	
50%	25%					
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	大谷区西部神事部の若い衆 (山車・囃子の保存に従事する16歳以上の人) 組織への参加人数	関連事業:	事業⑪, ⑮			
目標値 3 :	【現状値】 平成 28 年度 47 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 75 人					
設定根拠 3 :	現在の16歳未満の住民数から設定					
進捗状況 3 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
59 人	65 人	人	人	人	人	
43%	64%					
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	尾張大野梅栄車保存会会員数	関連事業:	事業⑫, ⑯, ⑰			
目標値 4 :	【現状値】 平成 28 年度 18 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 18 人					
設定根拠 4 :	地区の人口が社会減の状況により、現状維持を設定					
進捗状況 4 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
19 人	16 人	人	人	人	人	
106%	0%					

目標区分 5 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 5 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 5 :	常磐車保存会会員数	関連事業:		事業⑬, ⑰, ⑳, ㉔		
目標値 5 :	【現状値】 平成 28 年度 41 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 68 人					
設定根拠 5 :	山車部会、囃子部会それぞれの過去の入会者数の傾向から約2倍を目指し、年間5.5人に設定					
進捗状況 5 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
46 人	56 人	人	人	人	人	
19%	56%					
目標区分 6 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 6 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 6 :	白山車保存会会員数	関連事業:		事業⑭, ⑱		
目標値 6 :	【現状値】 平成 28 年度 60 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 60 人					
設定根拠 6 :	地区の人口が社会減の状況により、現状維持を設定					
進捗状況 6 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
60 人	60 人	人	人	人	人	
100%	100%					
目標区分 7 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 7 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 7 :	奥条囃子保存会会員数	関連事業:		事業㉓		
目標値 7 :	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 116 人					
設定根拠 7 :	地区の人口の緩やかな社会減の状況と事業実施の効果を勘案し年間4人増に設定					
進捗状況 7 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
100 人	110 人	人	人	人	人	
0%	63%					
目標区分 8 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 8 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 8 :	常滑市内祭り保存会における子ども会員数 (小学1年生～中学3年生)	関連事業:		事業㉕		
目標値 8 :	【現状値】 平成 30 年度 245 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 270 人					
設定根拠 8 :	地区の人口の緩やかな社会減の状況と事業実施の効果を勘案し1割増に設定					
進捗状況 8 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	245 人	人	人	人	人	
	0%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	常滑焼体験活用事業					実施団体：	大野谷文化圏活性化推進委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度				
事業概要：	日本六古窯の一つである常滑焼について学び、体験し、常滑の焼き物を活用した茶席を設けて地域に受け継がれてきた文化を啓発し、常滑焼の普及を図る。										
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	事業への協賛企業・団体、賛同者の件数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 25 件										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
7 件	10 件	件	件	件	件						
28%	40%										
事業②：	古典の日記念「伝統文化のつどい」					実施団体：	大野谷文化圏活性化推進委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度				
事業概要：	市民に地域の人々の受け継いできた伝統文化に触れる機会を設け、芸能舞台、講話、各種作品展示を行い、日本の古典文化への関心とこの催しを通して地域住民の絆を深め、伝統文化を育て次世代へ繋ごうとする意欲を高める。										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	矢田万歳保存会新規会員数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 4 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
4 人	5 人	人	人	人	人						
100%	125%										
具体的な指標：	尾張大野梅榮車保存会新規会員数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
1 人	3 人	人	人	人	人						
33%	100%										

事業③：盆栽鉢等普及推進寄植えフェスティバル 事業⑦：とこなめ焼実践展示会 盆栽展示会 事業⑧：とこなめ焼実践展示会 小品盆栽展示会	実施団体：『尾州廻船が伝えた常滑』地域活性化推進委員会				
事業区分：普及啓発	事業期間：平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	やきもの生産者の協力を得て、常滑焼の盆栽鉢・植木鉢を使った寄植え体験と、盆栽・小品盆栽の展示を実施する。空の盆栽鉢・植木鉢だけでは作り出せない自然美と人工美が調和した美しさを伝えることにより、盆栽鉢・植木鉢の魅力を再認識させ、普及啓発を図る。				
評価指標区分：	・その他				(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	フェイスブックでの「いいね」の数				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 500 件				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
65 件	715 件	件	件	件	件
13%	143%				
事業④：とこなめ焼急須で手揉み茶を楽しむ会 事業⑤：とこなめ焼急須活用講座 事業⑩：常滑焼を活用した煎茶・抹茶の体験会	実施団体：事業④⑤『尾州廻船が伝えた常滑』地域活性化推進委員会 事業⑤⑩常滑焼活用推進委員会				
事業区分：普及啓発	④⑤事業期間：平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		⑩事業期間：平成 30 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	手揉み茶葉等を使って常滑焼急須で煎茶を美味しく淹れる方法を学ぶ講演指導会と、常滑焼を使った煎茶・抹茶の体験会を行う。常滑焼の魅力を広く普及するとともに、やきもの制作者のモノづくりに対する想いを伝え、新たに常滑焼の技術を継承する担い手の確保を目指す。				
評価指標区分：	・その他				(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	フェイスブックでの「いいね」の数				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 500 件				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
65 件	715 件	件	件	件	件
13%	143%				
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）				(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	事業への協賛企業・団体、賛同者の件数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 15 件				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
0 件	6 件	件	件	件	件
0%	40%				

事業⑥：	とこなめ焼実践展示会 フラワーアート展	実施団体：	『尾州廻船が伝えた常滑』地域活性化推進委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	多くの人々に焼き物の良さを知ってもらうため、常滑焼の陶芸作家などが造る焼き物、オブジェクト、器物を使用したフラワーアート展を開催する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	フェイスブックでの「いいね」の数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 500 件					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
65 件	715 件	件	件	件	件	
13%	143%					
事業⑨：	常滑焼技術普及継承推進事業	実施団体：	『尾州廻船が伝えた常滑』地域活性化推進委員会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	急須クロコ技法、タタラ型押し技法、手捻り・ヨリコ技法、手彫り加飾技法などの多くの技法を公開し、多くの人々にやきものへの理解を促すとともに、常滑焼に従事する人々の後継者に対して製作技法の保全、技術継承を促す。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	常滑焼従事者の数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 400 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 500 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
406 人	416 人	人	人	人	人	
6%	16%					
事業⑩：	矢田万歳後継者育成事業	実施団体：	矢田万歳保存会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	矢田万歳保存会の会員の育成を行うとともに新規に募集を行い、外部講師による特別講座と練習を行い、後継者を育成する。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	矢田万歳保存会への新規入会者数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 4 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
4 人	5 人	人	人	人	人	
100%	125%					

事業⑩：	大谷後継者養成事業	実施団体：	大谷祭礼活性委員会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	後継者養成のため、八幡社祭りで曳き廻される蓬萊車を修繕し、その修理現場を一般公開するとともに、立川流の彫り物を展示して、広く公開していく。また、大谷区やその周辺地域の住民を対象の講習会を実施し、祭礼への理解を深め、周辺地域との交流を深めていく。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	大谷区西部神事部の若い衆（山車・囃子の保存に従事する16歳以上の人）組織への参加人数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 47 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 71 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
59 人	65 人	人	人	人	人	
50%	75%					
事業⑪：	尾張大野梅榮車後継者養成事業	実施団体：	尾張大野梅榮車継承委員会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	1. からくり人形操作の習得、糸通し・組立・収納方法の習得 2. 大屋根修理・宵幕修理の作業手順、作業方法を写真等で学習する。 3. 完成したものを、5月の大野祭り時に披露する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	尾張大野梅榮車保存会員数の現状維持					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 18 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 18 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
19 人	16 人	人	人	人	人	
106%	0%					
事業⑫：	常磐車後継者養成事業	実施団体：	常磐車建造100周年記念実行委員会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	文化財である常磐車を後世に伝承するため、常磐車の構造や部品の名称及び取付位置などを把握し、適切な保管を実施する。また、山車組み上げ及び解体の手順の実技指導を受け、後継者の養成に取り組むとともに、山車組み上げ手順を示したマニュアルも作成する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	市場組常磐車の山車保存会（山車部会）の会員数の増加					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 20 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 35 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
23 人	29 人	人	人	人	人	
20%	60%					

事業⑭：	白山車後継者養成事業	実施団体：	白山車建造百周年記念事業実行委員会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	白山車の組み上げ、組み下ろしの指導技術を受けるとともに、構造、各部の名称、役割を理解する。これらの技術、知識を習得することにより後継者の養成につなげる。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	白山車保存会会員数の現状維持					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 60 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 60 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
60 人	60 人	人	人	人	人	
100%	100%					
事業⑮：	蓬莱車整備事業	実施団体：	大谷祭礼活性委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	大谷祭礼で曳き廻しを行う蓬莱車の復元修理を行い、それと同時に、山車の修理風景や祭礼の講演会等、後継者養成事業を実施していく。 後継者養成事業については、事業⑭の後継者養成事業「大谷後継者養成事業」を参照					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	大谷祭礼参加者数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 380 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 650 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
520 人	530 人	人	人	人	人	
52%	56%					
事業⑯：	尾張大野梅栄車整備事業	実施団体：	尾張大野梅栄車継承委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	長年の使用で破れ等破損が目立ち、生地劣化で縫い合わせることも困難になってきているので、復元修理するとともに、後継者養成も行っていく。 後継者養成事業については、事業⑭の後継者養成事業「尾張大野梅栄車後継者養成事業」を参照					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	尾張大野梅栄車保存会会員数の現状維持					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 18 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 18 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
19 人	16 人	人	人	人	人	
106%	0%					

事業⑰：	常磐車整備事業	実施団体：	常磐車建造100周年記念実行委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	常磐車は建造から約100年が経過し、彫刻や幕等が経年劣化しているため、部分的に修復し、後世に継承するための整備事業を行っていく。 なお、後継者養成については、事業⑬の後継者養成事業「常磐車後継者養成事業」を参照					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	市場組常磐車の山車保存会（山車部会）の会員数の増加					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 20 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 35 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
23 人	29 人					
20%	60%					
事業⑱：	白山車整備事業	実施団体：	白山車建造百周年記念事業実行委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	大正7年に建造された白山車の経年劣化による部分を修繕し、併せて後継者養成の事業を実施していく。 なお、後継者養成については、事業⑭の後継者養成事業「白山車後継者養成事業」を参照					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	白山車保存会会員数の現状維持					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 60 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 60 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
60 人	60 人					
100%	100%					
事業⑲：	常滑焼急須の企画展示とやきもの散歩道めぐり	実施団体：	常滑焼活用推進委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> ・常滑焼の歴史 江戸時代から現代までの常滑焼急須作品展示と解説パネルの掲示 ・やきもの散歩道めぐり やきもの散歩道周辺の見どころ紹介など 					
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	事業への協賛企業・団体、賛同者の件数					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 7 件					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
0 件	4 件					
0%	57%					

事業⑳：	常磐車祭囃子記録作成事業	実施団体：	常磐車建造100周年記念実行委員会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 31 年度			
事業概要：	文化財である常磐車に伝わる祭囃子を正しく後世に伝承するため、笛や小太鼓、大太鼓、鼓の正しい指使いや洒落の入れ方などを把握し、映像として記録を残す。人伝えによる経年の変化を避け、正しい祭囃子を後世に伝え、後継者の養成につなげる。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	市場組常磐車の囃子保存会（囃子保存部会）の会員数の増加					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 23 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 33 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
23 人	27 人	人	人	人	人	
0%	40%					
事業㉑：	常滑市奥条区祭り囃子等記録作成事業	実施団体：	常滑市奥条区			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	奥条区に伝わる祭り囃子10曲、勇み囃子22曲及び三番叟隠れ遣い（人形戯）3曲を奥条囃子保存会会員や約20人が演奏、演舞するものを録音・映像により収録する。収録場所は常滑市民文化会館ホールの舞台上で行う予定をしており、その記録映像をブルーレイ・DVDに記録録画して、後継者育成・伝承用等に活用したりホームページ等で公開し、情報発信していく。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	奥条囃子保存会会員の増加					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 116 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
100 人	110 人	人	人	人	人	
0%	63%					
事業㉒：	常滑の伝統文化を訪日外国人に紹介するプロモーション動画作成事業	実施団体：	とこなめ山車まつり実行委員会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 31 年度			
事業概要：	4ヶ国語対応（英語、中国語（北京語／簡体字）、韓国語、日本語）の「常滑の文化遺産」を紹介するプロモーション動画を作成する。目的別にロングバージョンとショートバージョンを作成する。 ・ロングバージョン…約5～6分間の動画とし、市内公共機関、空港、宿泊施設、観光案内所、各種イベント等にて放映する。 ・ショートバージョン…約2分間の動画とし、FacebookやYoutubeといったSNSによる拡散を目的とする。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	常滑市観光協会（常滑市観光プラザ）における外国人入込客数					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 5,478 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 6,000 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	5,478 人	人	人	人	人	
	0%					

事業⑮：	第三回 とこなめ山車まつり	実施団体：	とこなめ山車まつり実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	市内の山車を集結し、からくり、三番叟、囃子等を披露し公開する。地元への愛着をもってもらおうと共に、各地区保存会への新規入会を積極的に呼び掛ける。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	常滑市内祭り保存会における子ども会員数(小学1年生~中学3年生)					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 245 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 270 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	245 人	人	人	人	人	
	0%					
事業⑯：	常磐車祭囃子後継者養成事業	実施団体：	常磐車建造100周年記念実行委員会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	常磐車に関連する祭囃子を正しく後世に伝承するために、人伝えにより変化している曲のテンポや強弱、洒落の入れ方、曲を変えるタイミングなど、保存会OBからの実技指導を受け、経験が浅い保存会員の技術向上に取り組む。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化(維持)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	市場組常磐車の囃子保存会(囃子保存部会)の会員数の増加					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 26 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 33 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	26 人	人	人	人	人	
	0%					